

## 核実験の即時停止を求める緊急アピール

核保有5か国の合意のもとに、去る5月、核拡散防止条約（NPT）再検討・延長会議において、包括的核実験禁止条約（CTBT）の1996年中の締結と、同条約発効までの核実験の自制が決定されたにもかかわらず、会議終了直後に、中国が核実験を実施し、9月5日フランスが核実験を再開し、更に10月1日に今年2回目の実験を強行したことは、国際的な核軍縮の流れに逆行するばかりでなく、核保有国が行うべき核軍縮努力を自ら破棄するものであり、極めて遺憾である。

中国とフランスは今後計画している核実験を直ちに停止し、他の核保有国とともに、包括的核実験禁止条約の締結に向けて真剣な交渉を行うよう求める。

われわれ世界平和連帯都市市長会議理事都市は、核実験の全面禁止が核兵器廃絶への重要な一歩であることを認識し、市長会議加盟都市とともに、核実験全面禁止のため、国際世論の喚起に一層の努力を行うことを決議する。

1995年10月17日

第4回世界平和連帯都市市長会議理事会  
ボルゴグラードにて